

どのシーンでも共通の設置の基本

親機（マスター）は据え置き、子機（スレーブ）は身に着ける。この役割分担を守るだけで、通信の安定性と連続使用時間が大きく変わります。



親機（マスター） コーナーガードが赤。据え置き・給電して使用

子機（スレーブ） コーナーガードが黒。体の側面に装着

6つの基本

01 据え置き・電源接続

親機は身に着けず、電源（USB給電）につないで据え置きで使います。親機はパススルー給電対応なので、給電しながらの運用で時間制限なく使えます。子機5台以上、または8時間以上の連続運用では給電を推奨します。

02 高い位置・見通し

親機は地面から1～2m以上、できるだけ高く、子機と見通しの良い場所に置きます。高い位置ほど通信が安定します（見通し通話距離 約300m）。

03 ノイズ源から離す

大電流が流れるケーブル・分電盤・大型モーター・溶接機の近く、強力な電波塔の付近は避けます。通信が不安定になったり到達距離が短くなることがあります。

04 複数グループは親機を離す

同一エリアで使える最大グループ数は6グループ（親機6台）。親機同士が近いと子機のペアリングが外れやすくなるため、親機同士は離して設置します。

05 子機は体の側面に

子機は腰のベルトや体の側面など、親機から見通しの良い位置に装着します。体で電波を遮らないようにするのがコツです。

06 16人通話は親機2台を有線連結

親機2台を有線で接続すると、子機最大16台（通話は子機16人）で同時通話できます。連結中は親機のBluetooth接続は使えません。

騒音レベルで選ぶマイク・ヘッドセット

騒音の目安	想定される環境	推奨マイク・ヘッドセット
～80dB	一般的な屋内・イベント会場・倉庫	タイピン SSP-1130／オーバーヘッド SSH-1117／ネックセット SSN-1059／VEXA SSW-1121
～90dB	建設現場・工場ライン・重機周辺	ヘルメット装着 SSH-1123／ハンドマイク SSM-1041（SSC-1246要）
95～100dB以上	はつり・プレス・プラント内の高騒音	スロートマイク SSI-1028／イヤーマフ型 SSH-1115（SSC-1246要）
屋外・ホイッスル	スポーツ審判	レフェリーマイク SSH-1124

主な仕様（抜粋）

- 1.9GHz帯 DECT準拠方式／伝送遅延 約0.05秒／最大8人同時通話／見通し通話距離 約300m／同一エリア最大6グループ
- 連続使用時間：親機 最大約8時間（子機3～4台時・給電推奨）／子機 有線 最大約14時間・Bluetooth 最大約10時間／充電 約2.5時間（USB Type-C）
- IPX5防水／MIL-STD-810H準拠／使用温度 -10～+60℃／重量 80g／技適取得・日本国内組立

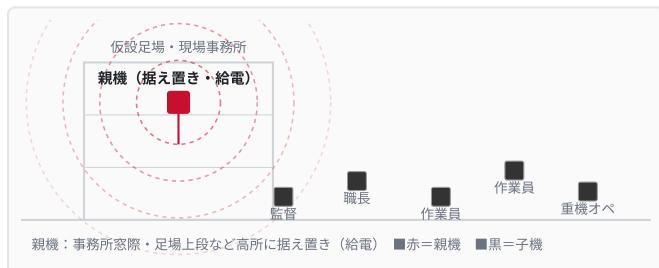
建設・工事現場

騒音と粉塵、広い敷地。親機は「現場を見渡せる高所」に据え置き、作業員はヘルメット装着マイクで。



親機の設置場所

1. 現場事務所・詰所の窓際や外壁、仮設足場の上段など、作業エリア全体を見渡せる高所（1～2m以上）に親機を据え置き、USB給電で運用します。
2. 分電盤・溶接機・大電流ケーブルの近くは避けます。地上と地下（坑内）をつなぐ場合は、親機を坑口付近の見通しの良い位置に置くと安定します。
3. 複数工区がある現場は、工区ごとに親機を分けて設置（同一エリア最大6グループ）。親機同士は離して置きます。



構成例

親機（据え置き）	1台	現場事務所・詰所に設置。通話には使わず固定運用
子機	4～8台	現場監督・職長・各作業員（1グループ最大8人）
推奨マイク	SSH-1123	ヘルメット装着マイク+防滴イヤスピーカー SSE-1040
高騒音エリア	SSI-1028	はつり・重機近傍はスロートマイク

運用のコツ

- ヘルメット装着マイク SSH-1123 は～90dB、スロートマイク SSI-1028 は95～100dB以上の騒音に対応。エリアの騒音レベルでマイクを選びます。
- IPX5防水・MIL-STD-810H準拠。雨天・粉塵環境でもそのまま使えますが、マイク風防は汚れたら交換してください。
- 1日8時間を超える運用や子機5台以上では、親機は必ず給電しながら使用します。

推奨マイク・ヘッドセット

SSH-1123
ヘルメット装着マイク
対応騒音 ～90dB
接話型ノイズキャンセル。ヘルメットに装着。防滴イヤスピーカー SSE-1040と組み合わせ可。

SSI-1028
スロートマイク
対応騒音 95～100dB以上
喉の振動を拾う咽喉マイク。ラインナップ中で最も高騒音向け。

SSP-1130
タイピンマイク
対応騒音 ～80dB
胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。

イベント・舞台進行・放送

Wi-Fiやワイヤレスマイクが飛び交う会場でも、1.9GHz帯のsquareは混信しない。親機は進行卓に。



親機の設置場所

1. 舞台袖の進行卓・PA卓・ディレクター席に親機を据え置き、電源に接続します。客席の人垣に遮られないよう、卓上スタンドなどで高さを確保します。
2. ホール全体を見渡せる位置（調整室の窓際、2階バルコニーなど）に置くと、ステージ・客席・ロビーのスタッフまで安定して届きます。
3. 大規模イベントでエリアが分かれる場合は、エリアごとに親機を設置（最大6グループ）。親機同士は離して配置します。



構成例

親機（据え置き）	1台	進行卓に設置。舞台監督・ディレクターが親機で通話に参加可
子機	6～8台	カメラ・音響・照明・フロア・受付など
推奨マイク	SSH-1117 / SSN-1059	長時間向けのオーバーヘッド・ネックセット
16人体制	親機2台 有線連結	子機16台で同時通話（連結中は親機Bluetooth不可）

運用のコツ

- ・ 伝送遅延 約0.05秒。キューの「3・2・1」がずれず、カメラスイッチングや転換の合図が揃います。
- ・ 両手を使うカメラマンや機材オペレーターには、ケーブルのないBluetoothヘッドセット VEXA も選択肢です。
- ・ 本体の録音・外部機器連携用ジャックを使った卓への音声出力は、接続機器をご相談ください。

推奨マイク・ヘッドセット

 SSH-1117 オーバーヘッドセット 対応騒音 ～80dB 長時間の連続使用に向く頭装着型。PTTボタン付き。	 SSN-1059 ネックセット 対応騒音 ～80dB 首掛けタイプ。帽子・ヘルメットと干渉しにくい。	 SSP-1130 タイピンマイク 対応騒音 ～80dB 胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。	 SSW-1121 VEXA（Bluetoothヘッドセット） 対応騒音 ～80dB目安 オープンイヤー・ボイスコマンド対応。ケーブルなしで両手が自由。
---	---	---	--

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。

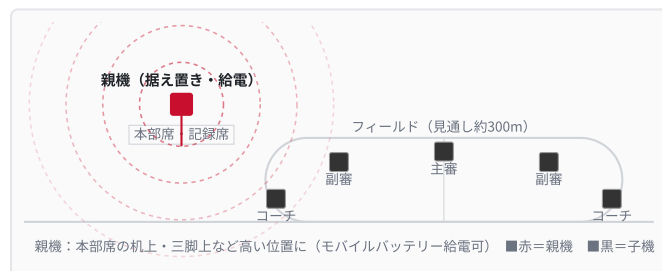
スポーツ審判・コーチ

屋外のグラウンドでも見通し約300m。親機は本部席に、審判はホイッスル音を抑えるレフェリーマイクで。



親機の設置場所

1. 本部席・記録席・ベンチ後方のテーブルや三脚の上など、フィールド全体を見渡せる高い位置に親機を据え置きます。
2. 屋外で電源が取れない場合は、モバイルバッテリーで給電しながら運用します（親機はパススルー給電対応）。
3. 複数コート・複数フィールドで同時に使う場合は、コートごとに親機を分け（最大6グループ）、親機同士を離して設置します。



構成例

親機（据え置き）	1台	本部席・記録席に設置
子機（審判団）	3～4台	主審・副審・第4の審判など
子機（コーチ陣）	2～3台	監督・コーチ・アナリスト
推奨マイク	SSH-1124	レフェリーマイク（ホイッスル音抑制・常時通話）

運用のコツ

- レフェリーマイク SSH-1124 はPTTボタンなし。子機をオープンモードにして、ホイッスルを吹きながらそのまま会話できます（マイクブームは右専用、イヤホンは左右どちらでも）。
- IPX5防水のため雨天の試合でも使用可能。子機はベルトの側面など、親機から見通しの良い位置に装着します。
- コーチ陣はタイピンマイク SSP-1130 やBluetoothヘッドセット VEXA で参加できます。

推奨マイク・ヘッドセット



SSH-1124
レフェリーマイク
対応騒音 屋外・ホイッスル
ホイッスル音抑制マイク。イヤホン型
体・PTTボタンなし（常時通話向け）。



SSP-1130
タイピンマイク
対応騒音 ～80dB
胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。



SSW-1121
VEXA（Bluetoothヘッドセット）
対応騒音 ～80dB目安
オープンイヤー・ボイスコマンド対応。ケーブルなしで両手が自由。

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。

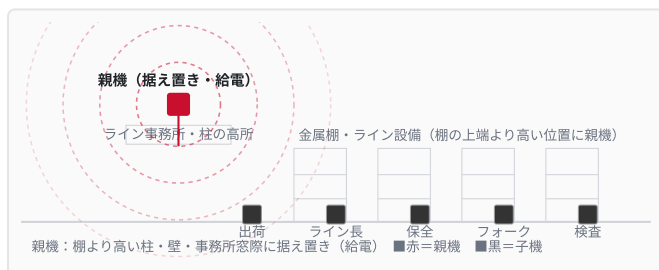
工場・プラント・倉庫

金属の棚・設備で電波が遮られる屋内。親機は棚より高い位置に、作業者は騒音レベルに合わせたマイクで。



親機の設置場所

1. フロア全体を見渡せる柱・壁の高所、またはライン事務所の窓際に親機を据え置き、電源に接続します。金属棚・ラックで遮られないよう、棚の上端より高い位置が理想です。
2. 溶接機・大型モーター・分電盤・大電流ケーブルの近くは避けます。通信が不安定になったり到達距離が短くなることがあります。
3. 広い倉庫やフロアが分かれる工場では、エリアごとに親機を設置（最大6グループ）し、親機同士を離して配置します。



構成例

親機（据え置き）	1台	ライン事務所・フロア高所に設置
子機	5～8台	ライン長・保全・フォークリフト・検査など
推奨マイク	SSH-1115 / SSI-1028	イヤーマフ型（遮音）／スロートマイク（95～100dB以上）
中騒音・倉庫	SSH-1123 / SSP-1130	ヘルメット装着（～90dB）／タイピン（～80dB）

運用のコツ

- イヤーマフ型ヘッドセット SSH-1115 は接続ケーブル SSC-1246（別売）が必要です。
- シフト運用では専用充電器 SSZ-1070（4台用／8台用）で一括充電。子機は有線マイク使用時 最大約14時間・充電約2.5時間です。
- 子機8台をフル接続する場合、親機は給電しながら据え置きで運用します。

推奨マイク・ヘッドセット

SSH-1115
ヘッドセット型（イヤーマフ）
対応騒音 高騒音
イヤーマフ一体型で遮音と通話を両立。接続ケーブル SSC-1246 が必要。

SSI-1028
スロートマイク
対応騒音 95～100dB以上
喉の振動を拾う咽喉マイク。ラインナップ中で最も高騒音向け。

SSH-1123
ヘルメット装着マイク
対応騒音 ～90dB
接話型ノイズキャンセル。ヘルメットに装着。防滴イヤスピーカー SSE-1040 と組み合わせ可。

SSP-1130
タイピンマイク
対応騒音 ～80dB
胸元に装着するコンパクトなタイピン型。PTTボタン付き。

※ 設置方法は一般的な目安です。実際の通信距離・安定性は建物の構造や周囲の電波環境により変わります。価格・納期はお問い合わせください。